

バンコク宣言



第8回国連ウェーサクの日国際仏教会議

2011年5月12～14日

タイ国アユタヤ県ワンノイ郡マハーチュラロンコーンラージャウィタヤライ大学

バンコク都国連会議センター

ナコンパトム県プッタモントン

1999年12月15日に開催された第54回国連総会において、34カ国の代表から共同提議された第174議題として、5月の満月の日に当たるウェーサクの日を国際的に認知し、国連本部および地域事務所においてこれを祝うという議題が採択された。この決定に従い、2000年より国連ウェーサクの日祝賀式典が仏教諸宗派の支援により始まった。今年は2011年5月12日から14日まで我々世界85の国々と地域からの参加者が、タイ仏教サンガ最高評議会の指導の下、タイ王国政府が後援し、タイ国マハーチュラロンコーンラージャウィタヤライ大学が主催した国連ウェーサクの日祝賀式典を祝うために集まった。

アユタヤ県ワンノイ郡マハーチュラロンコーンラージャウィタヤライ大学本校キャンパス、バンコク都国連会議センター、およびナコンパトム県プッタモントンにおいて開催された会議において、仏教諸宗派から派遣された団体および個人の間相互理解と相互協力の下、「社会経済開発における仏教の力」というテーマについて探求した。その結果、以下のことを全会一致で決定した。

1. 人類に奉仕する世界的宗教を創始したお釈迦様の成道2600年を記念すること； 国内および海外において1年間に亘る学術的、文化的、宗教的な成道記念活動を推進する。
2. プミボン・アドゥンヤデートタイ国王陛下の84歳の誕生日を祝福すること； 約4000件に及ぶ王室開発プロジェクトに証明されているように陛下の偉大なリーダーシップ、先見の明、人々に対する愛情を宣伝し、あらゆる階層の人々に陛下を模範とするよう奨励する。
3. さらに国王陛下の84歳の誕生日を記念して； 2011年12月に開催される第2回国際仏教大学協会会議を支援する。
4. 出家者と在家信者の双方にお釈迦様の社会的、経済的、政治的、宗教的リーダーシップに学ぶよう奨励し、タイ国王陛下の充足経済哲学のような成功した仏教的経済戦略における企業リーダーシップを教育すること； ビジネス社会に対し不要な消費財よりも必要な商品とサービスを優先するよう勧告する。
5. 一国の社会的、経済的問題は最早その国境内に留まることなく、数多くの国々に影響を及ぼすというこの地球の相互関係を認識すること； この危機的時期において仏教的な倫理、瞑想、英知を日常生活の中で実践することによって人類を導くことができる世界的規模のスピリチュアリティを振興する。

6. 持続可能な社会的、経済的、自然的環境の維持が人類にとって至急必要であることを留意すること；科学的、技術的、物質的進歩と文化的、道徳的、精神的進歩との間における中道を基本とするバランスを取ることが喫緊の課題であることを再認識する。
7. 地球と生物種が直面している社会的、家族的、経済的、宗教的、政治的な問題を認め、また、それらの難題を乗り越える人類の能力を信じること； 調和と平和を築く思い遣りのある対話と融和を推進するために慈悲、思い遣り、愛、寛容、忍耐、理解、信頼の価値を再確認する。
8. 調和の取れた社会の重要性を意識し、精神的健康、メタ心理的展望、および社会改善のための社会学に係わるお釈迦様の教えという偉大な財産を喚起すること； 生産と消費に仏教的美徳を取り入れながら相互依存の理解を基盤とする友情、相互尊重の文化、および協力を育むことを誓う。
9. 日本における津波、ニュージーランドにおける地震、およびその他世界各地における洪水やサイクロンなどの自然災害による犠牲者に最大限の同情を示し、無意識のうちに破壊され、文明を危機に晒しているこの地球の共有環境に配慮すること； 世界の仏教コミュニティが汚染、酸性雨、温室効果、オゾンホール、その他の環境問題を人類に認識させるよう必要な努力を開始することで地球上の生命を危機から救う。政府、NGO、マスコミと協力して環境保護への自発性を高める啓蒙活動を行うことを誓う。
10. 国際社会と各国政府に対し貧困と経済的不公平の排除に向けて努力するよう説得すること、人類の連帯を促進すること、並びにお釈迦様が教えられた根本的な人間の価値を共有すること； すべての人々が基本的人権を与えられ、人生と幸福を楽しむことができることに目覚めた世界を確立するよう努力する。
11. お釈迦様の成道2600年を記念して、上座部仏教、大乘仏教、金剛乗仏教共通の仏教テキストの完成、印刷、および幅広い無料配布を行い、お釈迦様の教義と実践への理解を広めること； すべての主要仏教経典に関する30以上の電子ソースと電子統一仏教テキストカタログへのリンク付けを完成し、ユーザーがすべての翻訳にアクセスできるようにすることを含む。
12. さらにお釈迦様の成道2600年を記念し、仏教聖地が果たしてきた重要で積極的な役割を認識させること； ユネスコおよび関係各国政府に新たな仏教遺跡の発掘、発掘済みの仏教遺跡の保存、適正な保護対策、並びに巡礼地におけるサービスの強化に関して一層の努力を要求する。
13. お釈迦様の生誕地であるルンピニと成道の地であるブッダガヤの両世界遺産に係わる文化的、環境的全体性を保護すること； 全世界の仏教コミュニティが重大な関心を持っていることを強調し、次の世代の人々のために二つの聖地周辺の大気汚染によるさらなる悪影響を防止するよう関係当局に要請する。

以上は2011年5月14日第8回国連ウェーサクの日国際仏教会議において宣言された。